



2025年 2月18日
第145号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第5号

「南武線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ 【全19項目】団体交渉を行う！①



1. ワンマン運転に関するお客さま周知を十分に行うこと。
【会社回答】プレスリリース等、必要な周知は順次行っている。

組合	会社
現時点における周知箇所と周知状況を示すこと。	<u>2021年からプレス</u> してきている。 <u>昨年11月6日の社長会見、ダイヤ改正プレス</u> も行っている。また、 <u>X (ツイッター)</u> による周知や、 <u>主要駅にはポスター</u> による周知、 <u>南武線と接続する周辺線区においては肉声放送による周知</u> も行っていく。
ポスターや肉声放送以外で周知は行っているのか。	区所とコミュニケーションを取り、ティッシュ配布等も検討している。
常時利用しているお客さまにはカバーできるが、稀に乗車するお客さまはどうか。ワンマン運転開始後も継続するべきだ。	ご意見として承る。3月いっぱいまで肉声放送を行う考えである。継続して考えていく。
警察や消防への周知は行っているのか。	ワンマン運転に限らず、コミュニケーションを図っていくことになる。

2. 施策に伴う人事異動は、本人希望およびキャリアプランを前広に把握し、社員の資格や能力を十分に考慮すること。
【会社回答】社員の運用については「任用の基準」に基づき取り扱うこととなる。

組合	会社
<u>本人のキャリアプランを最大限尊重することは確認できるか。</u>	<u>そこは変わらない。尊重する。</u> ポイント
<u>確認する。</u> 社員が納得感を得られるよう、社員と管理者でコミュニケーションを図っていくことは確認できるか。	<u>その通り。</u> ポイント
上期と下期、面談を2回受けてきた。乗務員、駅とで2通り聞かれた。本人希望の把握はしっかりされているのか。	大前提として、車掌を希望したら車掌、駅を希望したら駅とは限らない。仮に、車掌に100人希望したら、100人全員が車掌になれるわけではない。 <u>会社として、“本人にどうなってもらいたいかという思い”がある。</u>
会社と社員で思いの不一致も避けて通れない。それに対してフォローはあるのか。	<u>全てうまくいくとは思わない。受け側含め、しっかりフォローしていく。</u>
駅を離れて20年以上になるが、不安しかない。事前教育をやっていたきたい。	それは難しい。事前にはならない。区所によるが、マイプロや委員会等で勉強会は出来る。現に車掌としての業務もある。 <u>行った先でしっかり見習いを行っていく。</u>
十分な教育を、手厚く行う考えはあるのか。	一律で行うのは難しい。箇所毎で考えていくもの。
特に出札におけるマルスの扱いは、営業制度も複雑である。営業トレーニングセンター等の機会はつくれるのか。	ケースバイケースで必ずとはならない。閑散期に自駅でできることもある。
面談やコミュニケーションをとってきた中で、本人希望を上書きした場合はきちんと上書きされているのか。	上書きは悪いことではない。ゼロではない。
<u>管理者に伝えたことが、人事に伝わっているのか。</u>	<u>管理者へ明確に伝えていただいたことは人事にも伝わる。</u>
不安が大きい。まさにこの時期が大事。一方的ではなく、社員からの申し出に対しても対応すること。	不安はあると思う。 <u>社員の申し出を断る管理者はいない。</u>
<u>「会社として本人にどうなってもらいたいかという思いがある」ならば、社員本人の思いとのすり合わせが重要である。</u>	<u>過程が大事である。</u> 長年車掌をやっていた方が、次も車掌とは限らない現実があることはおいていただきたい。様々な選択肢に対して向き合っていたきたい。

社員の思いと会社の思いは“一致”しているのか？
次号で3項(意識付け、事前通知
について)の議論を掲載します！



次号②へ続く